

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策3 財政健全化に向けた改革の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 税務課長 内田 詔巳 電話番号 0852-22-5891

事務事業の名称	納税事務	
目的	(1) 対象	県税の納税者
	(2) 意図	適時、適切な納税の告知や税制度等の広報により、納期限内の納付、納入を促進するとともに厳正な徴収の執行により税の公平性を確保し、併せて税収の確保を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税義務を遂行させるため、滞納者に対して、滞納整理を行う。</li> <li>・法令の習熟と実務能力の向上を図るため、収税担当職員に対して、事務研修会を開催する。</li> <li>・調定、収納状況を管理するため、納税者に対し、納税の告知と必要な督促等を行う。</li> <li>・納税機会確認に必要とするため、納税者に対し、証明書を発行する。</li> <li>・適正な申告と納期限内納入を促進するため、市町村に対して、報奨金を交付する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

(1) 指標名	徴収率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			98.30	98.30	98.40	
式・定義	収入額 ÷ 調定額	実績値	98.20	98.30	98.50	98.80		%
		達成率		100.00	100.20	100.50		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,212,773	1,250,284
うち一般財源 (千円)	1,209,792	1,243,319

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・県税の徴収率は98.8%と、前年度と比較して0.3ポイントアップした。
- ・そのうち、県税収入の約30%余を占める個人県民税の徴収率は97.4%で、前年度と比較して0.3ポイントアップした。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・滞納処分件数は1037件で、前年度を約100件上回った。
- ・市町村税務職員と県税職員の相互併任についてはH26年度は14市町と実施した。
- ・地方税法第48条に基づく個人住民税特別滞納整理については、平成26年度(実施市町村数6)において約450万円を引き受け、約30万円を収入した。
- ・県・市町村合同で自治体共同公売会を2回開催した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

税源移譲後の個人県民税の県税収入に占める割合はH26決算で31.3%と大きく、この徴収対策が重要である。個人県民税徴収率は97.4%で、県税徴収率98.8%に比べ向上の余地がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・税務担当職員の徴収事務のスキル向上や監督者職員のマネジメント技術向上に向けた取組みが不十分であるところが見受けられる。
- ・住民税滞納者は他の市町村税の滞納を抱えていることが多く、徴収困難事案が多い。

### ③原因を解消するための「課題」

税務担当職員の徴収技術のスキルアップや監督者職員のマネジメント能力を向上させる必要がある。県・市町村が滞納繰越額の縮減に向けて連携して取り組む必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・個人住民税徴収対策会議を開催して徴収目標の設定と進行管理を実施する。
- ・県・市町村税務担当部局の相互併任を実施する。
- ・インターネット公売や自治体共同公売を実施して、換価方法の多様化を図る。
- ・県・市町村職員対象の徴収実務研修を開催する。
- ・地方税法第48条に基づく個人住民税特別滞納整理を実施する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）